

# 集落支援員だより

## 第16号

発行者 東和地域集落支援員  
連絡先 66-2490  
発行日 令和2年12月24日(木)



### 談話 ゲスト 地域を想う人紹介

今回は、武藤栄利さん(木幡)にひと言いただきました。十一月下旬に取材しました。



東和観光協会 会長  
武藤 栄利さん(木幡)

稔りの秋を迎え、田んぼは稲穂がこつべをたれ、収穫の時を待っています。

赤く色づいたりんご、紫に色づいたぶどう、黄色に色づいたみかん、それぞれの畑が活気づいているようだ。毎年この時期を迎えるワクワクする。でも、毎年同じでも今年は違った景色にみえる。

#### 計り知れない「コロナ」の影響

「新型コロナウイルス」が日本のみならず、世界中を席巻しています。家庭も学校も会社も、そしてスポーツも大きな影響を受け、オリンピックの延期から全てのスポーツが自粛されました。卒業を迎えた子供たち、生徒たち、三年間の集大成であ

るスポーツ大会や学習発表の場も奪われてしまい、本当にかわいそうでなりません。

また、あらゆる会議が見送られ、書面での報告と議決でした。例年開催される、私たちのよりどころとなるお祭りやイベントが中止となり、非常に残念に思っています。

現在も感染が広がり、より一層の危機感をもって生活していかなければならぬと思うと同時に一刻も早いコロナ禍の終息を願ってやみません。

#### 野生動物対策を進める

私は現在、水稲とワイン用のぶどうを育てています。今年は天候もよく、良いワインができるかと楽しみにしていました。そのため一年間手入れしてきました。しかし、コロナの影響により生産調整にせまられました。また、収穫直前にハクビシンやタヌキに被害されてしまい、畑によっては皆無のところもありました。

東日本大震災以降、イノシシが増え、その対策が徐々に効果を表してきています。最近では、クマ、シカ、サルの出没と通常では人里には来ない動物まで私たちの生活の中に入ってきています。以前は、山林は下刈りし、先人が手入れをし、耕作した田畑は耕作放棄地となり、野生動物の住処となつてしまいました。

イノシシ対策としては、電気柵が効果を表しておりますが、タヌキ、ハクビシンについては、本年実感しましたが、電気柵プラス何かが必要であることが判りました。

今後、これから先、野生動物と共存できる社会、生活環境を目指さなければいけない、そういう社会であってほしいと思っています。

#### パークゴルフ大会

#### 塩沢区が初優勝 初冬に親睦を深める

集落では、少子化と高齢化の進展に伴い、区長さん、リーダーの方々、自分たちの集落の舵取りをどうすればよいのか、10年先、20年先を考えたとき、いま何かしなければ将来が危ぶまれるのではないかと、どうしたら住みよい集落の継続が可能なのか悩んでいる方もいるのではないのでしょうか。そういった思惑と同時に、今年は感染症拡大防止

最後になりますが、初めて畑で収穫して作ったワインに寄せる思いを書いてペンを置きます。

ひとつの思いやりが幸せになるこの一滴が心を満たしてくれそんなワインでありたい  
感謝を込めてあなたへ  
「ありがとう」 (武藤栄利)

とが相まって、息詰まりを感じるような一年ではないでしょうか。

そういったなか、太田寺坂区主催として区長さん方に何か実のあることができないものかと考え、「集落支援協働事業補助金」を活用し、パークゴルフ大会および情報交換会を開催する運びとなりました。

11月22日(日)、日山パークゴルフ場は、体感温度が摂氏3度と初冬を感じる天候でした。まず感染症拡大防止対策等を行い、開会のあと、二本松市東和支所長の佐藤正弘さんより大会に先立ち挨拶をいただきました。準備運動として支所長による始球式が行われ、絶妙なショットの始球式から大会開始となりました。



▲大会に参加した選手ら  
(各行政区長及び代表者)

普段あまりスポーツに親しむ機会が少ない皆さんもいるなか、思い思いの感覚でプレーを楽しみ、個々の間隔を保ちながら、ひとときの親睦を深めることができました。

(裏面に続く)

なお、パークゴルフ大会の上位入賞者と特別賞は次の方々です。

- 優勝 関金一 (木幡・塩沢区)
- 準優勝 斎藤 房江 (太田・深田区)
- 3位 菅野 修市 (太田・若宮区)
- 4位 嶋野 喜幸 (太田・若一区)
- 5位 菅野 勝 (針道・五反田区)
- ホールインワン達成者
- 特別賞 嶋原 和洋 (針道・入組区)



▲ホールを狙ってボールを打つ  
選手 (村松功さん)

**元気な集落づくりを目指して**

パークゴルフ終了後には、道の駅ふくしま東和に移動し、意見交換会を開催しました。まず二本松市社会福祉協議会東和支所長の穴戸裕行さんより自己紹介を兼ねた挨拶があり、同地域福祉係生活支援コーディネーターの大内耕太郎さんにユーモア溢れる挨拶をいただきました。

意見として、少子化と感染症拡大防止の折、地域では今までのような子ども会

活動をするのは困難なため、親または関係者が子どもたちに適切な指示と潤いのある活動をお願いしたいという要望がありました。

また、高齢化社会の昨今、集落では何が必要か、何を求めているかについて話し合い、集落での話し合いの場も必要ではないのか。他県でも少子高齢化が進み、安否確認を兼ねた移動スーパを稼働させている自治体もある。ある集落では、看取り集落が増えているという切羽詰まった話もあり、他人事ではないと実感しています。集落づくりとしては、小集団活動として「いきいきサロン」、「100歳体操」など身近な活動を取り入れ、負担なく息の長い活動が必要とされています。

限られた時間の中での話し合いでしたが、様々な課題や意見が出され有意義



▲真剣な様子で意見交換する区長ら  
(道の駅ふくしま東和会議室にて)

な時間となりました。今回、パークゴルフ大会と意見交換会を通じ、集落の横のつながりもできたと思いますので、情報の共有化と近隣集落との意思の疎通を図り、元気な集落つくりの役に立ててほしいと思っております。

**木心が和む憩いの場づくり  
来春完成予定**

国道349号下田交差点より船引方面へ約600メートルのところに綱木集会所の隣に綱木サロンがあります。現在、「市民との協働による地域づくり支援補助金」を活用した憩いの場づくりを行っております。

かつては、この地には草野愛子さんの曾祖父が経営していた茶屋があり、饅頭、鉄砲玉黒飴玉、とろろん等を販売し、旅人の憩いの場として提供していたといわれています。時は明治の末期頃であり、我が町もかつては絹の町として全国に名を馳せ最も賑わっていたころのことです。

当時饅頭を捏ねていた水の源からは、今でも清らかな水が流れており、猫清水の地名ともなった湧き水があります。

その猫清水の地名に因み、綱木サロン小林市太郎代表は、「この地(太田字猫清水)に水飲み場と花壇を作り、四季折々の花などを愛でる場だけでなく、様々な活用を予定していきたい」と話しています。日当たりや場所に優れ、来年の春から多くの草花が咲き誇り、人々の目と心を和ませてくれることを期待します。



▲いきいきサロン事業として  
憩いの場作りに励む小林市太郎さん

**一編集後記**

「集落支援員だより」は、東和地域の情報や地域活動等をお届けしています。

どんな小さな活動でも取材に行きますので、載せたい情報等がありましたら、集落支援員までご連絡ください。

感染症予防には手洗いうがいの徹底はもちろん大切ですが、自己免疫力を保つために適度な運動、バランスのとれた食事、十分な睡眠も大切です。

東和支所地域振興課 (集落支援員)  
問い合わせ先: 66-2490 (直通)